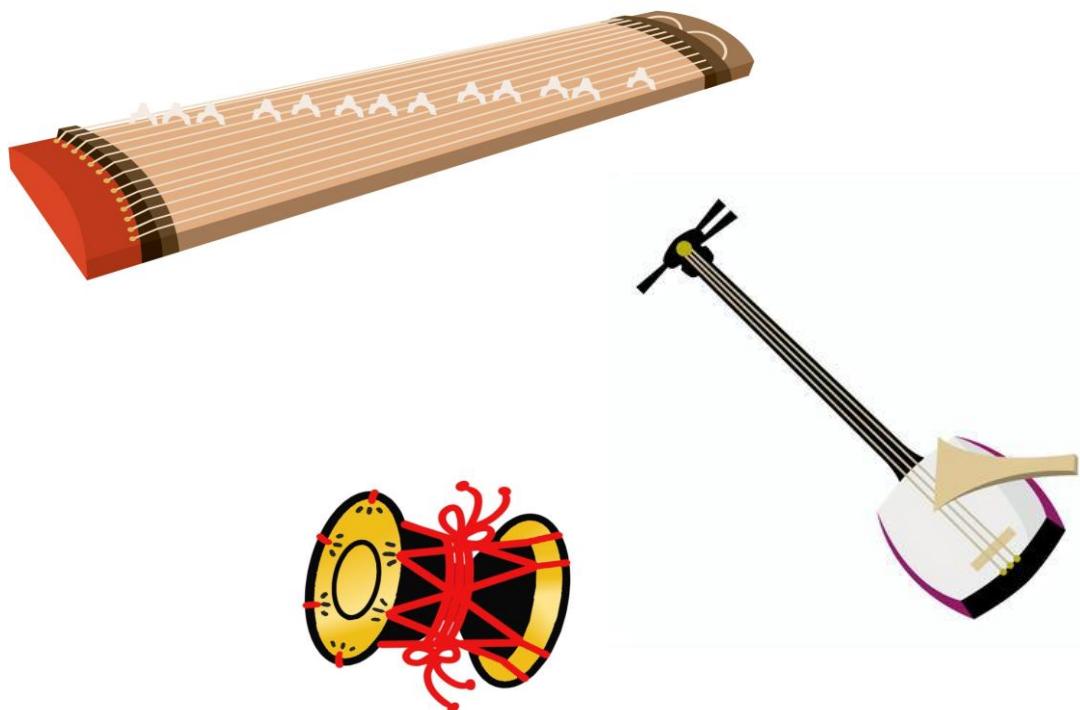


愛知県高等学校文化連盟

日本音楽部門 第40回発表会(県大会)
～ 箏曲・能楽・津軽三味線～

曲目・演目紹介



(1) 花舞（作曲 牧野由多可）・・・・・・・・・・・・ 愛知県立東海南高等学校

この曲は一箏の繊細な音色から始まり、終盤の舞踏曲のような壮大な曲想に向かって花が繚乱と咲き誇るように曲調が変化します。花が様々な苦難を乗り越えて成長していく様子を、私たちの人生と重ね合わせ、3つのパートの掛け合いや、強弱で表現します。

一つのつぼみから花が咲き乱れ、美しく散る情景を思い浮かべながら、ぜひお聴きください。

(2) 備北讃歌（作曲 菊重精峰）・・・・・・・・・・・・ 修文学院高等学校

この曲は、広島県北部の雄大な自然を身体で感じ取ったときの印象を音楽にしたものです。軽快なメロディーを奏でる一箏、力強いソロで激しい大河を表現する十七絃、そして二箏のアンサンブルが生み出す豊かな和声が、この作品の大きな特徴です。箏の響きを通して、その情景を感じ取っていただければ幸いです。

(3) アールグレイ（作曲 小田誠）・・・・・・・・・・・・ 愛知県立鳴海高等学校

アールグレイは、柑橘の香りをつけた紅茶です。この曲について作者は、「慣れない都会の喧噪を忘れ、ゆったりとした優雅なひととき。それは少しクセのある、ひだまりのような存在感がする」と述べています。「アールグレイ」は、十七絃の重厚感のある音と、十三絃の爽快感のある音によるハーモニーが特徴の曲です。2種類の箏が織りなすメロディーをお聴きください。

(4) Sarah～過ぎ行く時～（作曲 吉崎克彦）・・・・ 名古屋市立菊里高等学校

この曲は水の流れと時の流れをモチーフとして作られた箏三重奏曲です。1箏2箏の掛け合いが2つの水の流れを、17絃の重厚な響きが遙かな旅の風景を表現します。3パートの役割を意識した弾き方の違いに御注目ください。

(5) 天泣（作曲 橋本みぎわ）・・・・・・・・・・・・ 菊華高等学校

この曲はアニメ「この音とまれ！」の中で演奏された四重奏曲で、独奏、一箏、二箏、十七絃により構成されています。澄み切った空から降る雨のような独奏のメロディから始まり、徐々に他のパートが加わりながら音を繋いでいきます。この曲を一本の木に例えるなら、独奏と十七絃は大地に根を張り、真っ直ぐに伸びる幹。そして、一箏、二箏は枝葉や花となって音に彩りを添えます。心を一つに演奏いたします。お聴きください。

(6) 螺鈿（作曲 沢井忠夫）・・・・・・・・・・・・ 安城学園高等学校

「螺鈿」とは、貝殻の内側の真珠層で作られた、七色に変化し輝く美しさが魅力の伝統工芸です。本日、私たちが演奏する「螺鈿」は、種々の螺鈿細工の趣、面白さを変拍子やテーマの瞬間的転調等で楽しみ、全体をロンド風にまとめた一章と、光線によって変化する貝殻の美しさを、ゆったりと歌う様なテーマとそのヴァリエーションで表現しようと試みた二章からできています。螺鈿細工の美しさを演奏で表現できるよう、みんなで心を合わせて精一杯演奏します。お聴きください。

(7) 龍言（作曲 小田誠）・・・・・・・・・・・・ 光ヶ丘女子高等学校

この曲は、龍を箏に見立てその音色を通してメッセージを伝えています。
三国志で有名な諸葛孔明の異名「伏龍」をイメージして作曲されました。
孔明の言葉に「事を謀るは人にあり 事を成すは天にあり」とあるように、全体的に龍の力強さや神秘性を感じさせる曲調になっています。
龍の持つ莊厳さ、儂くも幻想的な風情、自由を求めてダイナミックに飛翔する姿と自在に変化する情景を私達なりに解釈して演奏します。
人数が多いですが、「龍からの大切な言葉」を会場の皆様にも感じていただけるような演奏を心掛けたいです。

(8) 禍を穿つ（作曲 沖政一志）・・・・・・・・・・・・ 愛知県立豊田東高等学校

この曲は、コロナによって、学校生活、行事、部活動など、たくさんの青春を奪われた学生たちの心の叫びを表現した曲です。終盤の2つの箏がきれいに重なった掛け合いの部分がこの曲の魅力です。ぜひお聴きください。

(9) オーロラ（作曲 吉崎克彦）・・・・・・・・・・・・ 愛知県立江南高等学校

この曲は、十七絃の低音から始まり、次第に音を重ねていきます。様々な音の重なりと、強弱のコントラストを意識して練習しました。曲の中盤のソロや、最後の盛り上がりで、森を抜けた先に広がる力強いオーロラや、自然の中の一つ一つのいのちの繊細さを表現します。生命力にあふれる大自然の迫力を感じながら、お聴きください。

(10) 星のように（作曲 松本雅夫）・・・・・・・・・・・・ 愛知県立豊田高等学校

この曲は、友人の結婚のお祝いとして作られた曲です。
一箏、二箏、十七絃の3つのパートが掛け合い、強弱や緩急を使って音のコントラストを意識しながら、キラキラと輝く星の様子を表現します。
私たち11人の気持ちを一つに、夜空にたくさんの星を輝かせたいと思います。

(11) 三つのフェスタルバラード（作曲 三木稔）・・・・・・愛知県立一宮西高等学校

今回演奏する「三つのフェスタルバラード」は、祭をイメージした曲です。第1楽章は、祭の始まりのわくわく感を、第2楽章は、祭の終わりに夢見心地になっている様子を、第3楽章は人形浄瑠璃の壮大さを表現しています。

変化してゆくテンポ、様々な奏法に注目してお聞きください。

(12) 桜フラグメンツ（作曲 冷水乃栄流）・・・・・・・・・・愛知県立半田高等学校

この曲は2019年に箏三重奏のために作曲されました。幻想的な桜の風景について三つの断章となっています。桜の花びらが雨に流れていく風景、人知れず咲き誇り舞い落ちる桜、咲き満ちて零れ落ちる桜の美しさを思わせるような曲です。

このような桜を表現するために部員と話し合いながら練習を重ねてきました。

情景を思い浮かべながらお聴きください。

(13) 素囃子「中之舞」・・・・・・・・・・・・名古屋市立名東高等学校

「中之舞」は、能楽のお囃子における代表的な舞の一つで、ゆるやかな舞と速い舞の中間にあたる、穏やかで品格のある舞です。笛・小鼓・大鼓・太鼓が調和のとれたリズムと旋律を奏でます。静けさの中にも気品と力強さが感じられるのが特徴で、能楽特有の「間」と「息の合い」を味わうことができる、雅やかで奥ゆかしいお囃子です。

(14) 新・夢いろは詩（作曲 武田佳泉）・・・・・・・・・・愛知県立名古屋西高等学校

名古屋西高校津軽三味線部は、現在プロとして活躍されている武田佳泉さんによって、2006年に創部され、今年20年目を迎えます。

今回、演奏する「新・夢いろは詩」は武田佳泉さんが高校生の時に作曲されたもので、津軽三味線部の代表曲です。

津軽三味線の力強い音色を存分に感じていただけるよう、精一杯演奏いたします。



本日は、私たちの発表会（県大会）にお越しくださいまして、ありがとうございました。

私たち部員一同は、この発表会のために、日頃の練習の成果が發揮できるよう努力を重ねてまいりました。これからも伝統の音楽を楽しみながら部活動に励んでゆきますので、変わらぬ御支援をお願いいたします。